
第4章

計画の推進に向けて

4-1 計画の推進体制の整備

- ・地域住民を始めとする多様な担い手の協働
- ・事業推進のための庁内体制の連携強化
- ・国、都、近隣自治体との連携強化

4-2 計画の定期的な点検・評価

- ・計画・プロジェクトの進行管理

4-1 計画の推進体制の整備

(1) 地域住民を始めとする多様な担い手の協働

計画推進の取り組み方としては、北部丘陵に関わる多様な担い手それぞれの持つ資源や能力、得意分野を活かし、話し合いの機会を持ち交流を深めながらビジョンを共有して実践していく「町田スタイル」で進めていきます。具体的には以下に示す方法等によって、多様な担い手の協働による計画の推進を図ります。

1) 事業推進の核の発掘・育成

事業実施の初動期は主に市が中心となり地域住民と協議を行いながら各事業に取り組みます。そして、取り組みに加わる地域の担い手や新たな担い手と話し合いの場を持ちながら事業を進めていく中で、例えば大学や企業・NPO等、自ら中心となって事業を進めていく担い手を発掘し、育てていきます。

将来的には、担い手自らが事業を実施していくことが可能な環境を整えていきます。

2) プラットフォームの形成と発展

北部丘陵の各所で進める個々の事業等、それぞれの目的に応じて担い手が集まり、一緒になって考え意見を交わすプラットフォームづくりについては、市が中心となって行います。

また合わせて、幾つものプラットフォームを結びつけながら輪を広げ、次第に北部丘陵全体の活性化について意見を交わし、ビジョンを共有しながら必要な調整を行い、計画の推進を担う大きなプラットフォーム「(仮称)北部丘陵まちづくり推進会議」へ形成に向けて取り組んでいきます。

(2) 事業推進のための庁内体制の連携強化

プロジェクト・事業を実施する主体はそれぞれ異なりますが、市が実施するものや市が支援する事業は数多くあります。しかし市の関与する事業においても、その内容によって担当する部署が異なり、また複数の部署が連携して実施する事業もあります。

そのため、主体的に事業を担う関係各課が、効率的・効果的に事業を推進できるよう、北部丘陵整備課が中心となり庁内調整を図ります。

(3) 国、都、近隣自治体との連携強化

実施する事業の中には、河川整備や法制度に基づく指定等、町田市が単独では実施できない事業もあります。また、北部丘陵は八王子市や多摩市と隣接しており、道路整備や交通アクセスの改善等、綿密な協議や調整が必要な事業も少なくありません。

そのため、そうした事業の実施に関しては、国や東京都、関係機関や近隣自治体等と役割分担を行いながら連携を図り、円滑なプロジェクト・事業の推進を図ります。

4-2 計画の定期的な点検・評価

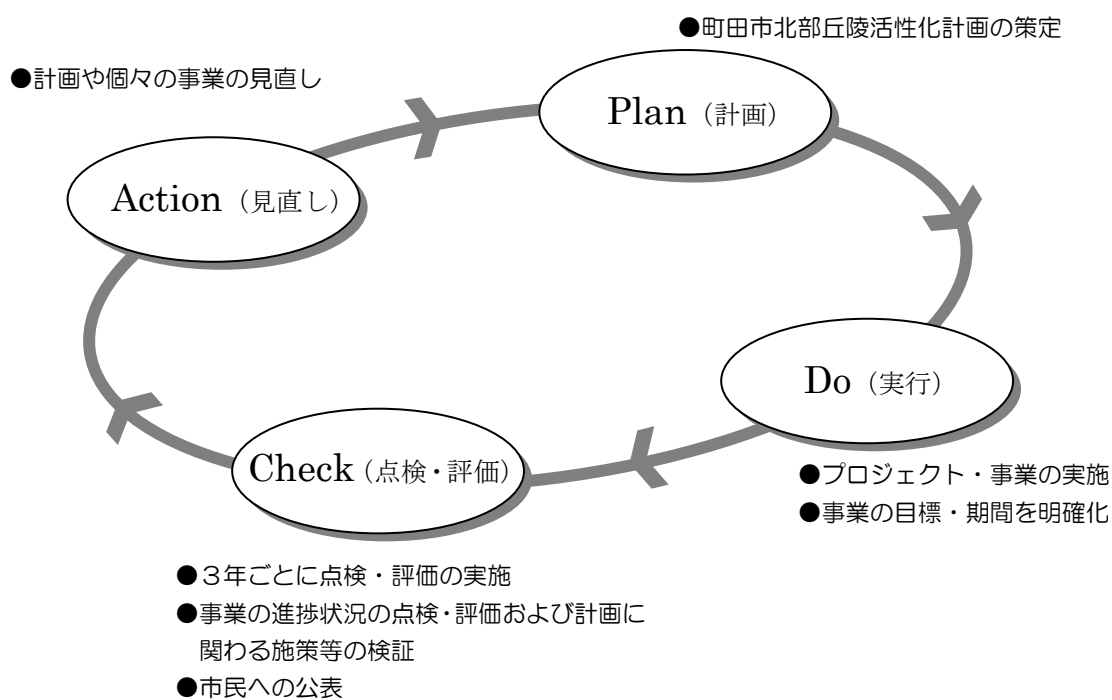
(1) 計画・プロジェクトの進行管理

計画やプロジェクトを着実に実施し成果を上げていくためには、その進捗状況を定期的に点検・評価し必要に応じて改善していく進行管理が重要です。

計画の進行管理については、Plan（計画）Do（実行）Check（点検・評価）Action（見直し）のPDCAのサイクルの考え方に基づいて実施していきます。

計画の実現に向けて実施する個々の事業については、その事業の目標と目標達成に要する事業期間を明確にして実施するとともに、計画の点検・評価は3年ごとに実施し、その結果を広く市民に公表します。また取り組みの様子を常に情報発信することで、計画やプロジェクトの進捗状況が把握できるように努めていきます。

点検・評価については、計画および事業の進捗状況だけではなく、計画に関わる施策等（土地利用に関するもの等）も含めて行います。それらの点検・評価に基づき、計画や個々の事業の見直しを図ります。



參考資料

1 検討体制

(仮称) 町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 委員名簿 (敬称略)

区分	委員氏名	所属等
学識 経験者	輿水 肇 (委員長)	明治大学 農学部 教授
	勝野 武彦 (職務代理)	日本大学 生物資源科学部 教授
	柳沢 厚	(株) C-まち計画室 代表
	池邊 このみ	ニッセイ基礎研究所 上席研究員
	菅 博嗣	(有) あいらンドスケープ研究所 代表
関係行政 機関職員	大塚 高雄	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観担当参事
	内田 敏夫	東京都 産業労働局 農林水産部 農業基盤整備担当課長

*所属等は委嘱時 (2009 年 7 月) のもの

2 検討経過

(1) (仮称) 町田市北部丘陵活性化計画策定委員会による検討

年度	主な内容	日時・場所
2009 年度	第1回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○北部丘陵地域の現況について ○北部丘陵地域の経過、課題等について ○活性化計画策定手順等について	2009年7月22日（金） 15時30分～17時30分 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
	第2回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○検討重点課題と検討の視点、方向性について ○活性化計画検討対象エリアについて ○市街化調整区域の扱いについて	2009年8月31日（月） 16時～18時 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
	第3回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○北部丘陵現地視察 ○参考資料に基づく質疑 ○（仮称）町田市北部丘陵活性化に向けたシナリオ（検討たたき台）について	2009年9月30日（金） 13時～18時 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
	第4回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画策定にかかる基本方向について	2009年11月20日（金） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
	第5回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画策定にかかる基本方向について	2010年1月29日（金） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
	第6回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画策定にかかる基本方向について ～「中間まとめ」骨子～について	2010年3月19日（金） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 2階 第4会議室
2010 年度	第7回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○今後の予定スケジュール及び検討内容について ○活性化計画の構成イメージについて ○活性化計画の基本テーマとプロジェクトについて ○短期的に取り組む重点事業について	2010年5月7日（金） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 2階 第3会議室
	第8回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画の構成について ○活性化の基本テーマについて ○4つのプロジェクトによる展開について ○地域新名称について	2010年6月28日（月） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 1階 第3会議室
	第9回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画案について ○地域新名称について	2010年8月31日（火） 10時～12時 町田市役所森野分庁舎 4階 第3会議室
	第10回（仮称）町田市北部丘陵活性化計画策定委員会 ○活性化計画案について ○地域新名称について	2010年10月13日（水） 13時～15時 町田市役所森野分庁舎 2階 第3会議室

(2) 活性化計画案の検討状況、地域のまちづくりについての懇談

日 時	対象地区等	会 場
2010年6月12日(土) 18:00~	田中谷戸街づくり協議会 (役員会)	田中谷戸倶楽部
2010年6月19日(土) 18:00~	田中谷戸街づくり協議会 (全体会)	田中谷戸倶楽部
2010年6月20日(日) 10:00~	上小山田町内会 (下根、平地区)	上小山田センター
2010年6月23日(水) 19:00~	小野路宿通り街づくり協議会 (定例会の1議事として)	小野路公会堂
2010年6月26日(土) 15:00~	下小山田町内会 (大善地区)	大善倶楽部
2010年6月26日(土) 18:00~	下小山田町内会 (大沢、滝沢地区)	大瀧会館
2010年6月27日(日) 10:00~	小野路町内会 (近隣複数地区)	小野路公会堂

(3) 活性化計画案、地域新名称案の説明及びパブリックコメント等に関する懇談

日 時	対象地区等	会 場
2011年1月23日(日) 18:00~	田中谷戸街づくり協議会	田中谷戸倶楽部
2011年1月25日(火) 19:00~	小野路宿通り街づくり協議会	小野路公会堂
2011年1月29日(土) 18:00~	下小山田東谷戸	大龍会館
2011年2月5日(土) 18:00~	下小山田善治谷・630号線	大善倶楽部
2011年2月6日(日) 18:00~	小野路馬場地区周辺	小野路公会堂

町田市北部丘陵活性化計画

発行年月	2011年（平成23年）3月
発行者	町田市 〒194-0022 町田市森野1-33-10 電話 042-724-2164
刊行物番号	10-91
編集	経済観光部北部丘陵整備課
編集協力	（株）アルテップ



<表紙デザイン>

北部丘陵の大きな特徴である、谷戸と尾根が織りなす起伏に富んだ地形をデザインに取り入れました。